

#### 4. 議題

今回の番組審議委員会は、『ヒッツ求人情報 ※①』（放送日時：7月4日 月曜日 午前9時20分ごろから放送、中村よし子ナビゲーター）と、『お悩み解決！経営よろず相談室 neo ※②』（放送日時：8月3日 水曜日 午前10時30分から放送、服部和子ナビゲーター）を聴取して審議に入った。

※①番組内容：高山市、飛騨市内の「求人情報」を紹介。事業所名、職種、雇用形態勤務時間、募集人数、勤務地、PRポイント等を放送。

※②岐阜県よろず支援拠点 チーフコーディネーターの松岡隆さんをスタジオにお招きし、中小企業向けの経営に役立つ情報を放送。今回は時事的な話題を取り入れ、経営的視点から見たプロ野球 中日ドラゴンズ 根尾昂選手の投手転向について放送。

#### 5. 議題内容

会社側：審議に入る前に、前回の番組審議委員会での意見に対しての回答、報告、今後の放送予定、聴取した番組の補足などを説明した。

原委員長代理：只今、聴取した内容について感じたこと、普段聴いている放送についてご意見を頂戴したい。

高原委員：「求人情報」については、紹介した中村ナビゲーターはベテランだし、特に意見はない。

「よろず相談室」について、コーディネーターの松岡さんはしゃべり慣れている人だし、声も聴きやすいと思った。今回、根尾選手と投手転向が経営に役立つ情報と絡めての話題だったが、自分は経営者ではないので、根尾選手についての話題しか興味が湧かなかった。従って、経営的視点としてはわかりづらかった。

藤垣委員：「求人情報」について、今回求人募集していたグリーンホテル、遠藤隆浩税理士事務所も、住所の番地まで細かく紹介していたが、町名までの紹介で十分なのかなと感じた。また、グリーンホテルの職種の紹介が多すぎてわかりづらかったが、復唱していたのでわかりづらさもカバーできているのかなと思った。

「よろず相談室」については、高原委員同様、私も野球に興味があり、根尾選手の話題には興味が湧いたので、野球好きは飽きずに聴けるのではないかと思った。しかし、経営的視点と絡めてだと少し物足りない感じがした。ただ、松岡さんの話し方は慣れていて原稿読みでも無いし、

市役所の職員も参考にしたいと思った。（藤垣委員は市役所職員で、高山市で広報番組を持っている為）

松川委員：「求人情報」について、今年の7月が1回目の放送なのか？

会社側：そうだ。有料番組ということで、営業をして今年6月までに契約をした。7月は2社紹介し、8月は1社紹介している。基本的に数社集まれば紹介したい考えだが、急募などの場合は1社でも紹介する。今後、契約が取れば毎月行いたいし、契約が無い場合は不定期の放送となる。

松川委員：高山市もわりと企業数が多いので、全体の中の数社の募集紹介で終わってしまうのか、または今後、企業数を増やして募集紹介していくのか、今後の展開がわからない印象を受けた。また、求人を募集するなら6月が大卒の解禁となるので、もう少し早く求人募集したらよいと思った。求人の内容を淡々と紹介していたので、果たして参考になったのか疑問だ。例えば1社か2社の紹介なら、企業のPRポイントをその会社に勤めている人の声で紹介すれば、興味を持つのではないかと思った。

「よろず相談室」については、他の委員同様、根尾選手の投手転向について、視点を置いていた根尾選手は走・攻・守、揃っているのに、経営的視点からの判断が少しわかりづらかった。例えば「このような素材だから投手ができる」「こうだから野手もできる」「2刀流もいける」など「根尾選手の特徴がこうだから決めた」みたいな話しもあるとよいと感じた。また、根尾選手の投資の部分の話しもしていたが「投手としてもいけるから、こうゆうところに投資をして投手に専念させた」などの話しも欲しかった。他の委員同様、経営的視点で聴くことができなかった。

原委員長代理：「求人情報」は初めての試みだし、今後、新しいことにチャレンジして欲しいと思う。なお「求人情報」については、細かいことを紹介しても、ラジオでは伝わりづらいつと感じた。松川委員の意見であったが、企業のPRポイントを勤めている人に紹介してもらえば、会社の良い所が伝わり興味が湧くのではないかと思う。今後、試行錯誤しながら放送して欲しいと思う。

「よろず相談室」については、松岡さんの話し方が巧みで、服部ナビゲーターも合いの手が上手くて、話しもかみ合っていたのでよかったと思う。内容は、根尾選手のプロ野球の話から経営的視点での話しで奇想天外な内容だったが、私自身も、根尾選手について興味が湧いたが、経営的視点での話しは頭に入らなかった。ただ、こう言う内容を話す松岡さんの発想は面白いと思った。

先ほど会社側から「今後、どのような番組があればよりリスナーに聴いてもらえるのか？」という相談があったが、ヒッツ FM は、今までいろいろなことをやってきたし、25 年も放送を続けていることは大変なことだと思う。最近「開局 25 周年記念 特別番組」を時間が有る時に聴いていたが、面白かったと思う。普段はナビゲーター1 人での番組進行となるが、この時は異色な組み合わせで、ナビゲーター2 人が掛け合いで番組を進行していた。番組内容は、各ナビゲーターがのびのびとしゃべっていたのでおもしろかったし、また聴きたいと思った。せつかくなら、1 日だけではなく、期間中 1 週間くらい、一部のレギュラー番組を 2 人体制で放送するとか、数人で放送するとかやってもよかったのではと思った。今は 25 周年記念の 1 貫ということだが、例えば、月 1 回とか不定期で 2 人もしくは数人体制で進行する番組があってもよいと思う。それぞれのナビゲーターの特性がわかるので、ナビゲーター同士の“刺激”になると思う。

会社側：今、聴取した「求人情報」の中には、紹介するはずの PR ポイントが放送されなかった。そのあたりは確認したいところだ。1 週間ほど前にも「求人情報」を放送したが、この時は企業の PR ポイントを紹介している。先ほど「PR ポイントを企業のスタッフの声で紹介したらどうか」という意見があったが、各企業に対して、求人案内をスタッフの声で事前録音して放送することも可能だと提案していた。しかし今回は、当局側で紹介して欲しいとの事だったので、当局のナビゲーターが紹介した。今後も、スタッフの声で PR してもらえるよう提案し、実際に放送できるようにしたいと思う。

「よろず相談室」については、原委員長代理の意見でもあったように、直接経営にかかわるような話では無いかもしれないが、ある意味「ヒント的」なところを聴いてもらった。今回は根尾選手の話題についてだったが、以前は事業承継のテーマで、映画「ゴットファーザー」を取り上げて興味を持ってもらうように放送した。また、実際に事業承継で成功したお店も紹介している。そのあたりを意識しながら、今後も放送していきたいと思う。ゆくゆくは、事業承継の内容を松岡先生と相談して考えたい。

原委員長代理：事業承継の番組はたまに聴いているが、現状、いろいろな事情で事業承継の前に廃業したり、後継者がいなかったり、高齢化になったり、事業承継できていないことをよく聞く。しかし先ほど、上手く事業承継できている事例もあるので、もっと多く事業承継ができた事例を紹介して欲しいと思う。有名な方、作品からの経営的視点の話題もいいのだが、経営者である私の立場としては、実体験の話があればさらに興味

が湧くと思うので、事業承継が上手くできた事例を多く話す時間もあればよいと思った。

松川委員：「求人情報」について、私は現在、人事担当（松川委員は金融機関職員）をしていて、今、就職活動真っ最中で、先月も就職ガイダンスを行ったがそのような情報はヒッツ FM で紹介しているのか？

会社側：就職ガイダンスについては、8月号の広報高山（月1回発行される高山市の広報誌）に掲載しており、当局でも「高山シティインフォメーション」（高山市の広報番組）の枠で「就職ガイダンス」について紹介していた。また番組内で、各ナビゲーターが紹介する場合もある。

松川委員：例えば当日に、就職ガイダンスの会場に出向き、各企業の方や参加している学生にインタビューをしたらどうか？就職ガイダンスは2日間の開催だが、初日は50人から60人程度、2日目も盛況ではなかった。なので、私自身あまり説明することなく終わってしまった。今後、インタビューを検討して頂けるとありがたい。

会社側：インタビューについては、過去に何回か取り上げたことがある。しかしこの時は、行政の担当者だけにインタビューしただけなので、今後は参加企業にインタビューするとか検討したい。

松川委員：正直、人材不足で大卒も確保できていない状況だ。中途採用を募集している企業も多いが、厳しい状況なので、今後「求人情報」の中身を工夫して頂けるとありがたいと思った。しかし、学生を含む若い人は高山にいないのはずなのだが、どこに行ってしまうのか？地方や都会に出ってしまうのか？

会社側：例えば、雇用促進協議会などで予算を工面してもらえると、番組の枠を増やすことも可能だし、またレポートで現場に行かせるにも人件費がかかるので、人件費も補ってもらいたいところだ。

原委員長代理：進学する高校生は、地方の大学や専門学校に行くし、高卒も地方で就職するのか？高山で就職するのか？実態がわからない。

松川委員：高山で就職する人はまず、高山市役所を希望して受ける人が多いみたいだ。

原委員長代理：高校生や若い人と、就職についての対談をしたらどうか？難しいと思うが検討して頂きたい。

会社側：当局としては新卒にこだわらず、中途採用も含めた求人情報を、耳に残ってもらえるようなイメージで期間中放送している。もちろんそれを聴いてすぐに企業に応募するとは思わないが「イメージ付け」で、まずはやっている。

原委員長代理：とにかく初めての試みなので、これから改善して欲しいと思う。他の意見は無いかな？

会社側：先ほど「ヒッツ FM 開局 25 周年 プレゼント企画」の報告で、資料添付していなかったが、応募総数が約 120 通あり、自分が思っている以上に応募があったと感じた。また、応募した年代別を調べたら 30 代～50 代の応募が多かった。聴いている年代イコール、応募する年齢なのかなとも感じた。今後もプレゼント企画などをしながら、アンケート調査も同時に行いたいと考えている。ちなみに秋には大々的ではないが「飛驒牛」のプレゼントを行う予定だ。

原委員長代理：「プレゼント企画」はキリのいい年で行えばよいと思う。今回は難しい内容が多かったが、少しずつ改善して頂きたい。

会社側：貴重な意見を頂き感謝している。番組向上に繋げてまいります。

## 6. 審議機関の答申又は、意見の概要を公表した場合における公表 内容、方法年月日

令和 4 年 8 月 23 日（火）番組審議委員会の席上で説明

## 7. その他の参考事項

次回開催日：令和 4 年 10 月下旬

開催場所：飛驒地域地場産業振興センター（予定）